

“つづける”ということ

～課題に応じた人材確保～



日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ 木下卓也

自己紹介…

1

- | | |
|------------|---|
| 1980年 | 大阪北部の田園が残った地域で生まれる。 |
| 2002年 | 大阪の医療系専門学校を卒業。
「作業療法士」となる。 |
| 2002～2009年 | 「地域リハビリテーション」を中心に活動。
診療所、クリニック、福祉施設などで働き、
福祉用具の営業も経験。 |
| 2009～2013年 | 医療系大学の助手。 |
| 2014～2016年 | 地域おこし協力隊として
実施隊チーフに任命される。 |
| 2017年～現在 | 地域おこし協力隊終了後、
3町雇用で実施隊チーフを続投。 |



山が好き！野生動物が好き！というような
自然大好きアウトドア人間！ではありません。



鳥取県 日野郡(2020年)

	人口 (人)	高齢化率 (%)	林野面積 割合 (%)
日南町	4,192	52.1	89.25
日野町	2,906	50.1	89.01
江府町	2,712	48.6	81.18
合 計	9,810	50.6	87.52
鳥取県	551,300	32.0	73.79

(出典：日野郡の現状～令和2年版～「令和1年10月現在」)

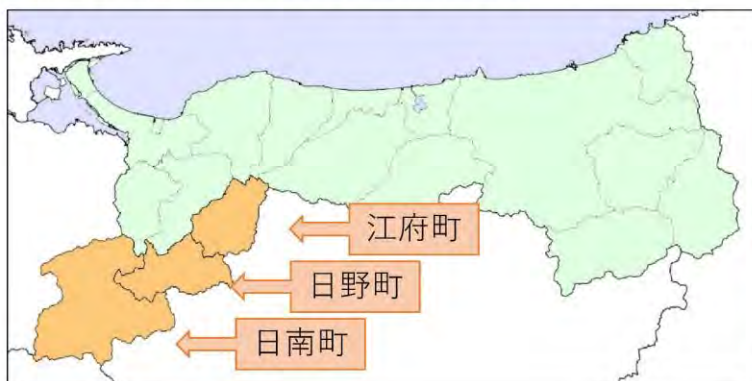
「日本の30年先の姿」

進む過疎・高齢化

高齢者の高齢化も問題…

もちろん空き家問題や

諸般の担い手不足問題も…



日野郡鳥獣被害対策協議会 設立の経緯

2010年7月23日 「鳥取県日野地区連携・共同協議会」設置

単独行政を選択した日野郡3町と県が連携・共同し、行政サービスの維持・向上や効率的な行政運営の促進と共通する諸課題の解決に取り組むことを目的に地方自治法に基づき設置

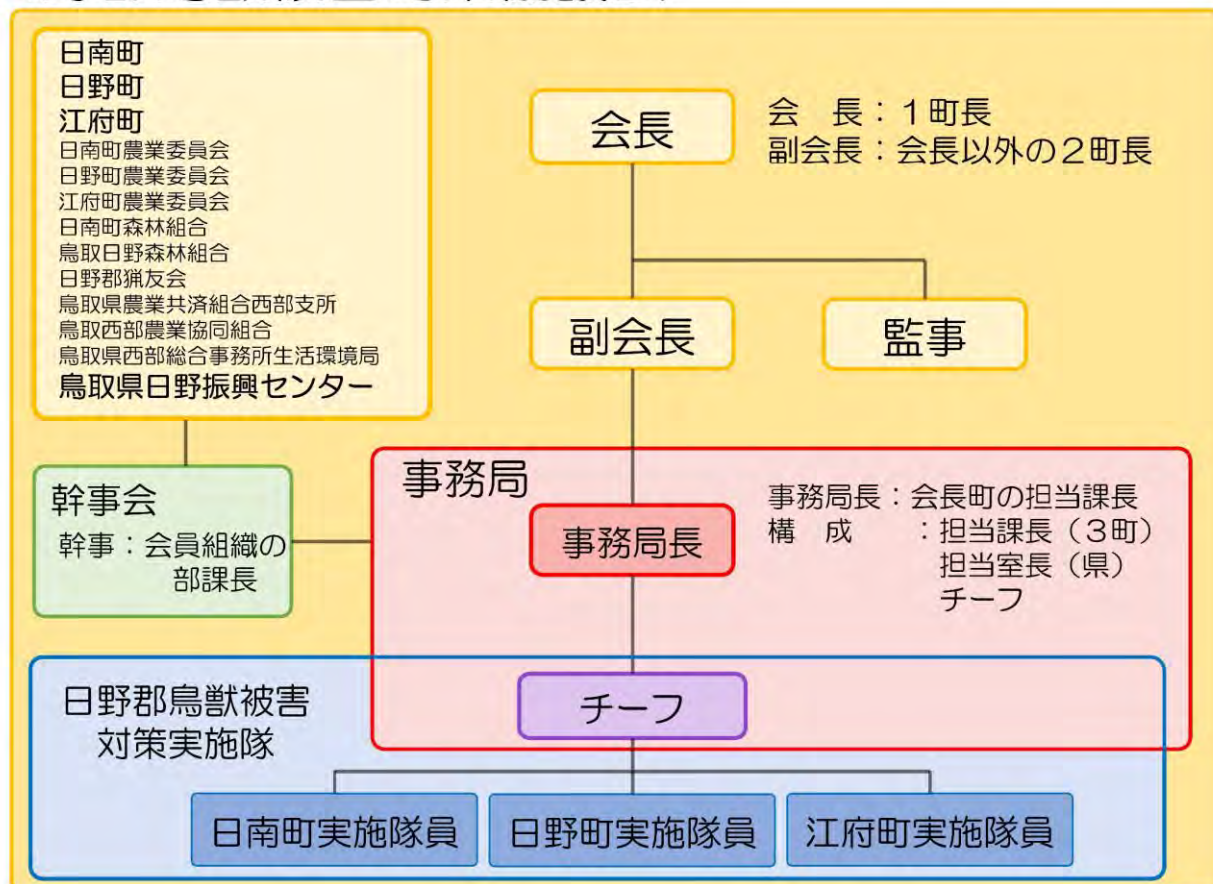
2012年2月28日 「農業分野等専門部会」の立上げ

平成23年度第2回連携協議会の承認に基づき、農業分野での連携、共同に関する検討チームを立上げ、鳥獣被害対策の共同化を検討開始。検討事項：鳥獣被害対策(イノシシ)・農地利用促進

2013年12月3日 「日野郡鳥獣被害対策協議会」設立

「鳥取県日野地区連携・共同協議会」で「日野郡鳥獣被害対策協議会」の設立を決定。2014年に実施隊の設立を決定。

日野郡鳥獣被害対策協議会



実施隊の活動(2020年度)

組織運営	国庫交付金（ソフト事業）・3町負担金の予算・会計・決算は実施隊が実施。鳥獣被害防止計画の立案、議会答弁内容の検討など、シンクタンクの役割
被害相談	被害地の確認、加害獣・侵入経路の特定、対策の相談と指導
普及・啓発	侵入防止柵に係る計画前研修会、施工研修会 煙火消費保安講習会の開催
実証実験	遠隔監視捕獲システム自作版（トットルキャリア）の製作 楽落くん試験設置
調査	センサーカメラによる山林内の定点観測
捕獲	※原則、捕獲は行わない 有害捕獲員がいない地域での捕獲檻設置 中型獣の捕獲檻設置 新規有害捕獲員へのセンサーカメラ等の貸与と指導
錯誤捕獲対応	ツキノワグマ錯誤捕獲時の確認、現場確保

日野郡鳥獣被害対策実施隊の構成(2020年度)

区分	雇用	身分
チーフ	日南町 日野町 江府町	嘱託職員 ※日南町農林課所属 ※3年目まで日南町地域おこし協力隊 ※大阪府出身
隊員	日南町	募集中
隊員	日野町	募集中
隊員	江府町	嘱託職員 ※江府町農林産業課所属 ※3年目まで江府町臨時職員 ※江府町出身

※現在は募集終了しています。

日野郡鳥獣被害対策実施隊員の変遷

8

第1期

2014												2015												2016											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B					B							E	E	E	E	E	E												
C	C	C	C	C	C	C						C	C	C	C	C	C	C						C	C	C	C	C	C	C					C
D	D	D	D	D	D	D						D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

第2期

2017												2018												2019											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F					H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G
D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

第3期

2020											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
H											
D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

7年間で、隊員4名が揃っていた期間は、半分に満たない。

原因は？ ①体制の不備、②マッチング問題

第1期の体制不備の問題は、2017年のサミットでお話したので、第2期からの話を中心に進めます。

2014

2015

2016

目標：「鳥獣被害対策＝捕獲」の打破！

目標：侵入防止柵の適切な使用

ジビエは「地域振興」！
鳥獣被害対策には含まない！

隊員の育成

P.10

・事前研修 ・現地測量 ・施工研修

P.11

啓発活動の充実

P.12

噂：中型獣による被害増加

被害の情報収集

家庭菜園での被害が増加

中型獣の捕獲

噂：ニホンジカ増加？

センサーカメラによる定点撮影

P.20

シカの撮影数増加、複数頭を撮影、クマも…。
しかし、県・町に危機感なし！
説得力のある資料が欲しい！
より専門性のある隊員が欲しい！

実施隊員の育成

1. 動物の生態の学習

- ・加害動物の生態学習
- ・痕跡判別の実地研修

2. 鳥獣被害対策の学習

- ・被害対策の基本
- ・先進事例

3. 被害場所の確認

- ・加害獣判別
- ・侵入経路の特定
- ・机上と現場の照合
- ・被害パターンの蓄積
- ・被害映像の蓄積

4. 捕獲技術の修得

- ・狩猟免許取得
- ・銃所持許可の取得
- ・実地研修



鳥獣被害対策を根付かせるためには、**人材育成が不可欠！**

被害対策の指導（侵入防止柵設置指導）

基本研修会 みんなで学んで、「あきらめ」を払拭する！



現地測量 みんなで歩いて、考える！



施工指導 みんなで汗かき、作業する！





生涯学習教室



JAセミナー



町報・ブログ



黒坂小学校



子ども教室



老人会

実施隊が培った経験や知識を、**簡単な言葉で住民の経験に即した例え**を使って、広く知ってもらおう。

合言葉は「1人以上集まったらどこでも話します！」

「地域おこし協力隊」マッチング問題

募集側のタイプ

特定課題

複数課題

自由課題

町の補助



応募者のタイプ

起業

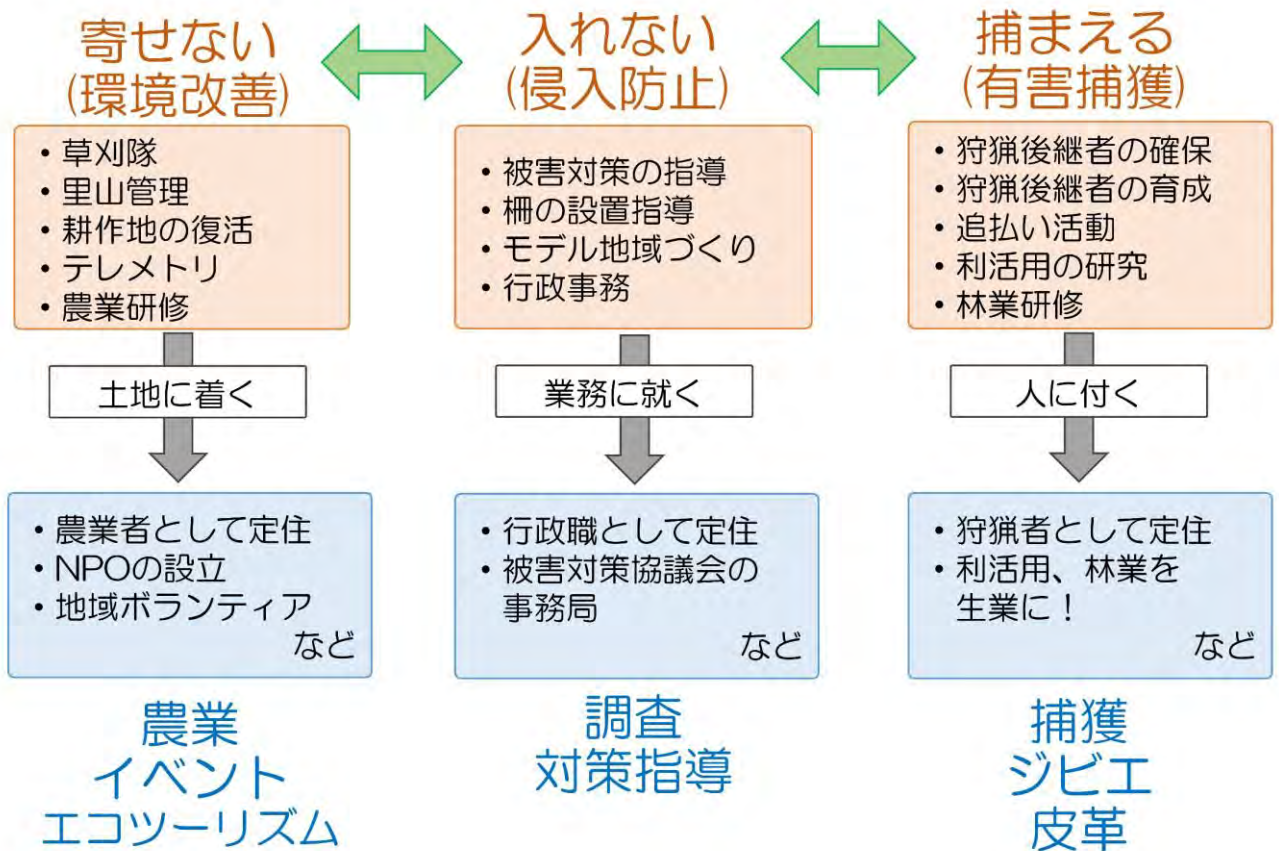
半農半X

とりあえず移住

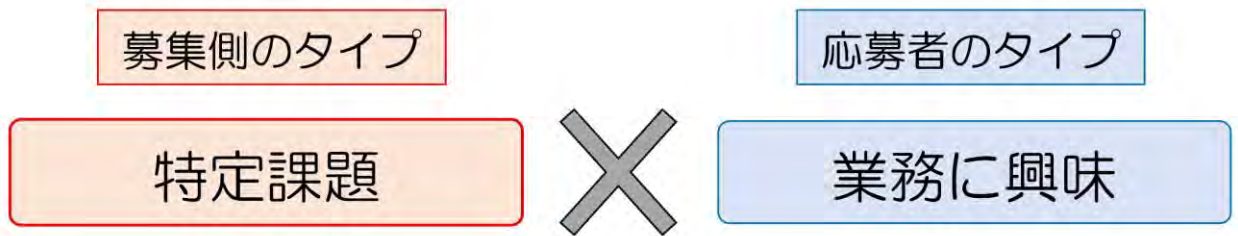
業務に興味

町の課題と卒業後の構想から逆算して
募集要項の作成、応募者の選考が必要！

「鳥獣被害対策」と「地域おこし協力隊」



募集の方向性



最低条件

財源としての「地域おこし協力隊」終了後、会計年度任用職員として採用する。

理解

専門的な人材を採用したい！
それゆえ、個人の興味の変化で退職もあり得る。

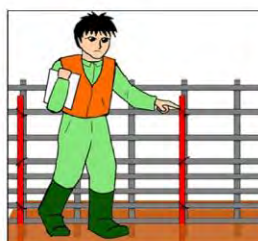
目標設定

解決したい課題 「ニホンジカの増加を数値データで示す」
最低でも達成したい目標
「県(日野振興局)を中心とした対策プロジェクトの発足」

2017	2018	2019	2020
目標：「鳥獣被害対策＝捕獲」の打破！			
目標：侵入防止柵の適切な使用			
・事前研修 ・現地測量 ・施工研修			
・啓発活動			
・点検研修			P.17,18
目標：中型獣用侵入防止柵の普及			
・中型獣の捕獲 (2018年頃から地域住民との協力体制を強化)			
「楽落くん」技術習得 P.19	「楽落くん」技術習得 モデル農地①	「楽落くん」モデル農地②	「楽落くん」モデル農地③
目標：二ホンジカ生息数の増加を明確化、県を中心とした対策プロジェクトの発足			
隊員の育成 県委託先業者での 技術研修	糞塊密度調査の実施 P.21		
	一部メッシュにおいて、県調査の10倍以上の糞塊を確認		
		県・町に危機感！ 県と実施隊で 今後の対策を協議	県を中心に、町・森林組合と勉強会 日野郡の二ホンジカ調査を 外部委託
・ツキノワグマ錯誤捕獲対応			

維持管理指導

17



①指さし目視確認

柵が立っているかだけでなく、細かな部分に注意を払って下さい。

- ・3か所の結束
- ・倒木等による破損
- ・地面の沈下
- ・獣の痕跡 など



②下部足蹴り確認

下部を蹴った時に揺れや振動があれば、

- ・地面に刺せていない
- ・下部の腐食
- ・獣による持ち上げ
- などが考えられます。



③上部揺さぶり確認

柵を揺った時に4～5枚先まで揺れが伝わるようだと

- ・結束がゆるい
- ・支柱の穴の広がり
- ・地面の軟化
- などが考えられます。





2011年度にWM柵設置。

2017年、収穫直前にイノシシが侵入。食害、踏み倒し等で、左写真5枚の田んぼを含めた8枚が壊滅。



収穫できなかった稲をそのままにしていたため、冬期も侵入し、柵のダメージが大きくなる。

2018年3月に相談され、実施隊でWM柵を点検すると、131カ所の補修が必要な場所が見つかる。

イノシシについての学習会を行う。
設置位置の変更、部材の交換、補強など
地域全体で取り組み、131カ所を補修。



捕獲檻を設置。エサやり方法を学んでいただき、捕獲補助を行ってもらう。

2018年10月、無事に水稻収穫！

毎年3月にWMの点検と補修をしっかりと継続中！
対応困難時に相談が入る。

「楽落くん」技術習得（いろいろ失敗しました…）

1
年
目



中型獣は
防げたけれど…



カラス対策、忘れてました…。

2
年
目

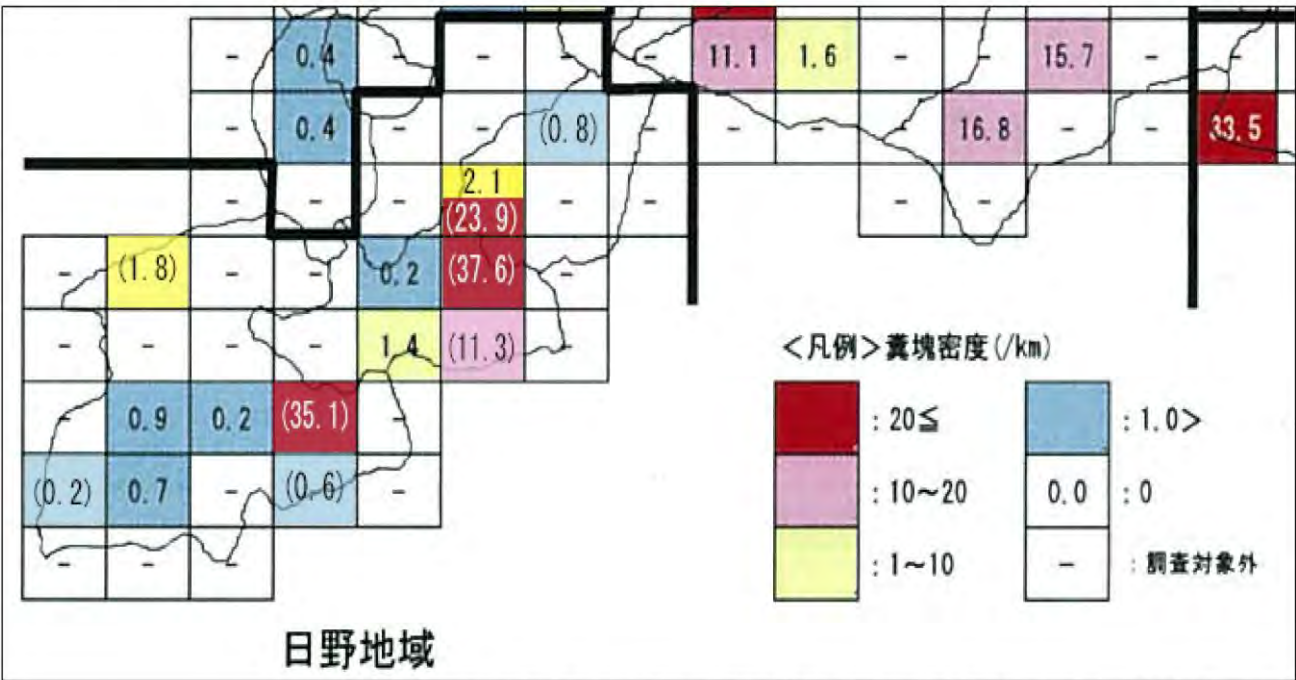


↑
テグスを
張りました。

空からは
防げたけれど…



鳥って電線にのれましたね…。



※鳥取県指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定調査業務報告書の2018年度のメッシュ別糞塊密度調査結果に、2019年度の実施隊調査の値を追記。(括弧)付きの数字が実施隊調査。

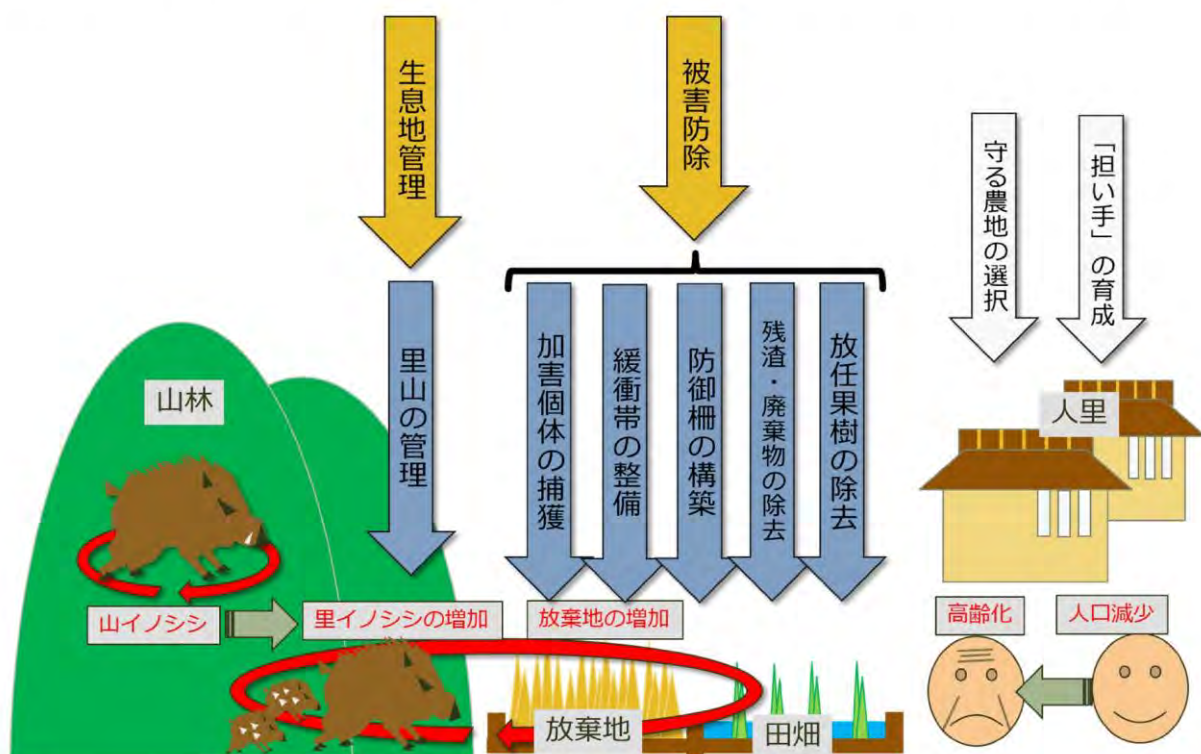
日野郡内の一部地域では、生息密度が高い可能性が示唆された。

2020	2021	2022	2023	
継続活動				
・ 事前研修 ・ 現地測量 ・ 施工研修				
・ 点検研修				
・ 中型獣の捕獲 (2018年頃から地域住民との協力体制を強化)				
・ [楽落くん]モデル農地③		・ 「楽落くん」普及		
日野郡の 二ホンジカ調査を 外部委託	目標：二ホンジカ対策(捕獲体制の構築)			P.23,24
	・ 捕獲確認システムの導入	・ 捕獲場所の選別		
	・ 試験的集中捕獲	・ 集中捕獲期間の設定		
	・ 隊員の育成	・ 捕獲体制の構築		
	捕獲技術の習得	・ 侵入防止柵の機能向上(二ホンジカ対策)		
目標：地域ぐるみの「寄せない」対策の充実				P.25
・ ツキノワグマ錯誤捕獲対応				
		・ 女性グループの鳥獣被害対策支援		
		・ 「地域つなぎLab」との連携		
		・ 隊員の育成 地域との関係構築		

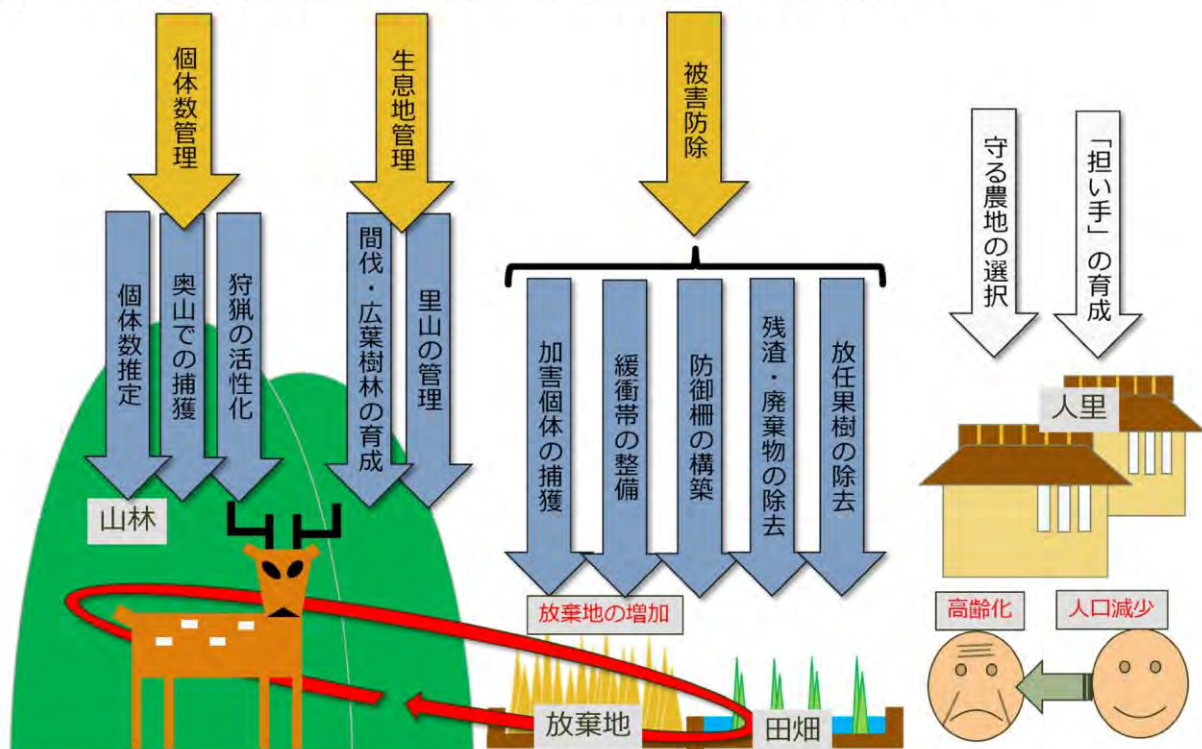
第3期の展開① イノシシ対策 ＋ 二ホンジカ対策

23

これまでイノシシ対策が中心であったため、被害防除に力を入れてきた。



ニホンジカ増加に伴い、野生動物管理の考え方が必要になってきた。
捕獲 + 侵入防止柵の機能向上が必要になってくる。



第3期の展開②



「入れない」対策を中心に、「寄せない」「捕まえる」対策で補完する。



「地域づくり」の文脈に「鳥獣被害対策」を入れなおす。

地域づくり・鳥獣被害対策のいずれかに
主軸を置いた活動がしたい人材を確保する。

地域の諸問題や鳥獣被害を「慢性疾患」と捉える

慢性疾患の特徴

長期的で、不確かで、不経済で、多くの場合重複していきわめて侵害的であり、治療不可能なので姑息的である。

ストラウス「慢性疾患を生きる」

集落に発生している様々な症状の中で
「鳥獣被害」という症状に3つの薬をどう処方するか？

対策	例えるなら…	
有害鳥獣捕獲 (捕まえる)	劇薬 鎮痛薬	病気に対して直接的に働き、劇的な効果を発揮する。処方を間違えると効果がないどころか、副作用が生じて体を弱らせる。
侵入防止柵 (入れない)	常備薬 治療薬	病気が悪化するのを防いで治療する。病気の初期、予防に効果的。用法・用量を間違えると効果がない。
周辺環境改善 (寄せない)	漢方薬 健康食品	病気になりにくい体質に改善していく。即効性がないので効果が分かりにくい。

様々な課題と向き合い、目標や手法、体制を変化・修正しつつ、活動を続けていく。

「右肩上がり」の時代には次は何を手に入れようかと考えていたわけだが、右に下がってゆく時代には何を最初にあきらめるべきかを考えざるをえない。絶対に手放してはならないものと、あればよいけどなくてもよいものと、端的になくてよいものと、絶対にあってはならないもの、これら四段階の《価値》の遠近法にもとづいて、優先順位というものをいやでもつねに頭に入れつつ、社会運営にあたらねばならないのである。

鷲田清一「しんがりの思想 反リーダーシップ論」

ご清聴ありがとうございました。



日野郡鳥獣被害対策協議会

〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨140-1 日野振興センター2階
TEL：0859-72-1399
メール：hino-choju@sea.chukai.ne.jp
オリジナル鳥獣被害対策カードゲーム ダウンロード先
<https://drive.google.com/drive/folders/125cb5VTQFdcEXw5qr-qPljimOCyNkFkg>
※スマートフォンなどで読み込んで、パソコンにアドレスを送信すると楽にアクセスできます。

